

経営方針説明会

ご説明内容

- トピックス
- 2018年度計画
- 1618中期経営計画の進捗状況

トピックス

新広告デザインのご紹介



【主な掲出場所】

- ・ J R 東海道線
二川駅（上下階段垂れ壁）
豊橋駅（上り線階段垂れ壁）
- ・ 東海道新幹線
豊橋駅 構内
（上り線 指定席側階段付近）

- 四輪自動車を主とした事業であることを社員がクルマの形に並んだインパクトあるビジュアルで表現。
- それぞれが仕事道具を持ち「クルマの軽量化のために、それぞれの技術を駆使して重力と闘う」姿勢と、視線はまっすぐ前を見つめ進んでいく様子を表しています。

アーレスティインディア 10周年を迎えました



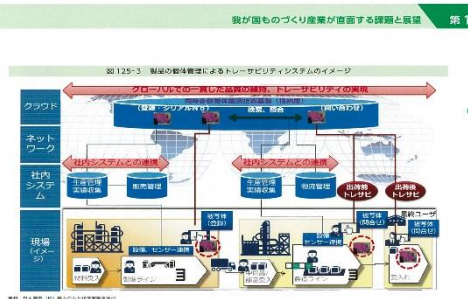
米国、中国、メキシコに次ぐ4番目の海外ダイカスト製造拠点として、インドに「アーレスティ インディア」を設立し、10周年を迎えました。

アジア市場におけるダイカスト事業の拡大と当社のグローバル競争力の強化に向け、日々発展を続けています。

アーレスティの品質管理に注目

近年、日本のものづくりにおいて品質管理に注目が集まる中、アーレスティの品質管理が注目されました。アーレスティ独自の工法であるNI法の工程管理技術改善による検査工程の削減事例やトレーサビリティシステムなど、アーレスティが取り組む品質管理について各メディアにて掲載されました。
 (掲載紙 ものづくり白書 (経済産業省)、日経ビジネス、日経ものづくりなど)

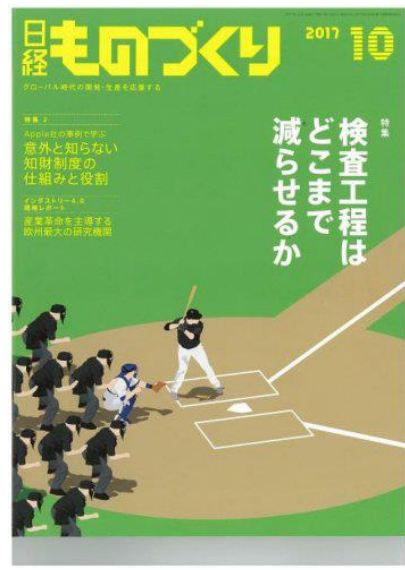
ものづくり白書 2018年版



コラム トレーサビリティシステムによる品質保証・・・(株)アーレスティ

【株】アーレスティ(愛知製鋼㈱)はダイキャスト(金型に押射した金属を高温、高圧で成形することで高精度の部品を短時間で大量に生産する製造方式)メーカとして二次合金(アルミ合金)を用いて自動車のエンジン部品やトランスミッション部品などに多く採用されているが、用途の多岐にわたる部品に求められる品質も高まっている。品質保証は近年欧州市場を中心とした主要市場での「顧客要求」が厳格化され、顧客・経営・販売の面で高品質な製品が求められる。顧客要求はデジタル化による製造工程の透明化と、顧客・経営・販売の面で高品質な製品が求められる。顧客要求はデジタル化による製造工程の透明化と、顧客・経営・販売の面で高品質な製品が求められる。

日経ビジネス 2017年11月13日号



2018年度計画

2018年度 通期計画

(単位：百万円)

	2017年度		2018年度 計画		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	145,167	100.0%	152,000	100.0%	6,832	4.7%
営業利益	4,718	3.3%	5,800	3.8%	1,081	22.9%
経常利益	4,436	3.1%	5,300	3.5%	863	19.5%
当期純利益	3,450	2.4%	3,600	2.4%	149	4.3%
EPS (円)	133.40		139.17			

実績の為替レート (通期平均) : USD 米110.83円 メキシコ112.39円 人民元 16.64円 ルピー 1.72円
 計画の前提レート : USD 110円 人民元 16.0円 ルピー 1.75円

2018年度 ダイカスト事業

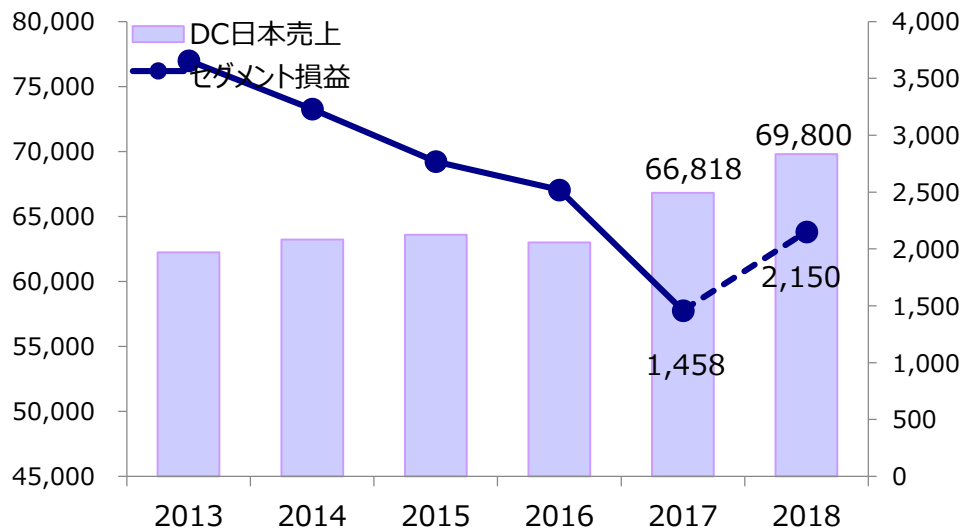
(単位：百万円)

		2017年度		2018年度 計画		増減	
日本	売上高	66,818	100.0%	69,800	100.0%	2,982	4.5%
	セグメント損益	1,458	2.2%	2,150	3.1%	692	47.5%
北米	売上高	39,937	100.0%	41,000	100.0%	1,063	2.7%
	セグメント損益	291	0.7%	1,470	3.6%	1,179	405.2%
アジア	売上高	30,442	100.0%	33,000	100.0%	2,558	8.4%
	セグメント損益	2,378	7.8%	1,900	5.8%	△478	△20.1%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2017年度：51.3% ⇒ 2018年度：51.5%

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



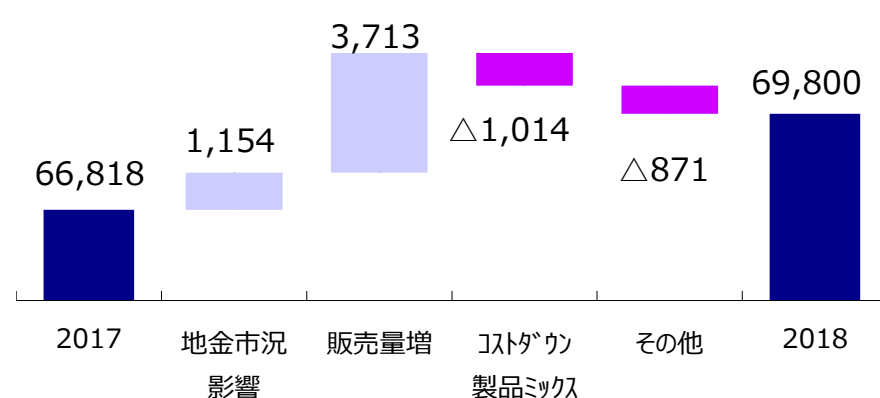
売上：29.8億円増（前期比4.5%増）

- 主要顧客の販売が好調で受注量が増加
- 地金市況は前期実績より上昇の予測

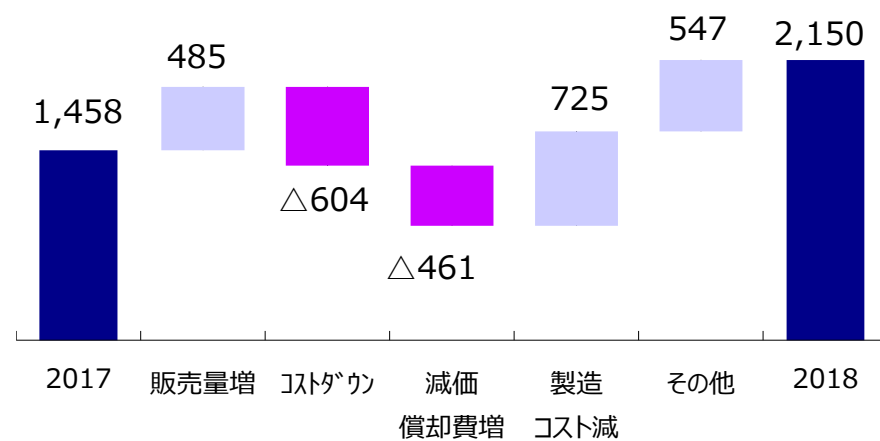
セグメント損益：6.9億円増（前期比47.5%増）

- 売上高の増加
- 栃木工場等の生産性改善、原価低減により増益

売上高増減要因（単位：百万円）

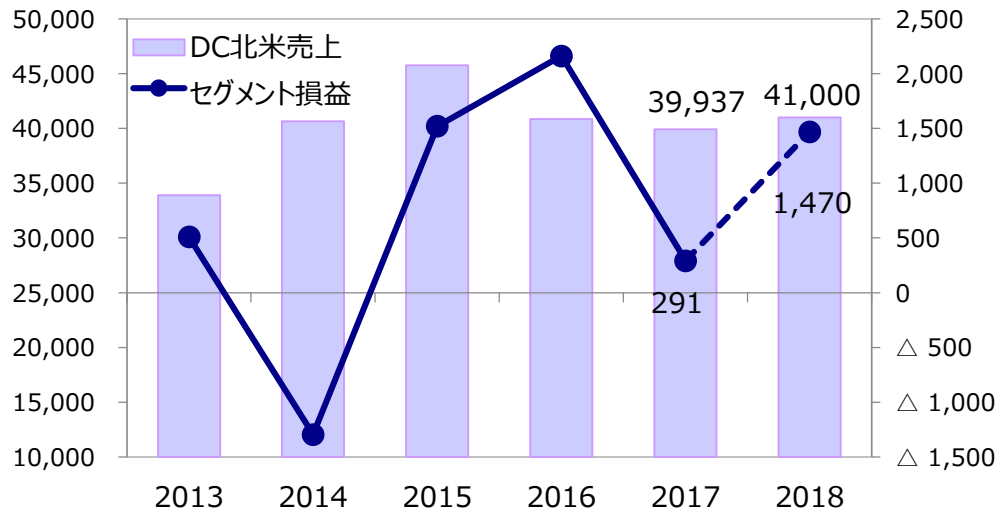


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：10.6億円増（前期比2.7%増）

- 米国、メキシコ共に受注量が増加
- 地金市況は前期実績より上昇の予測

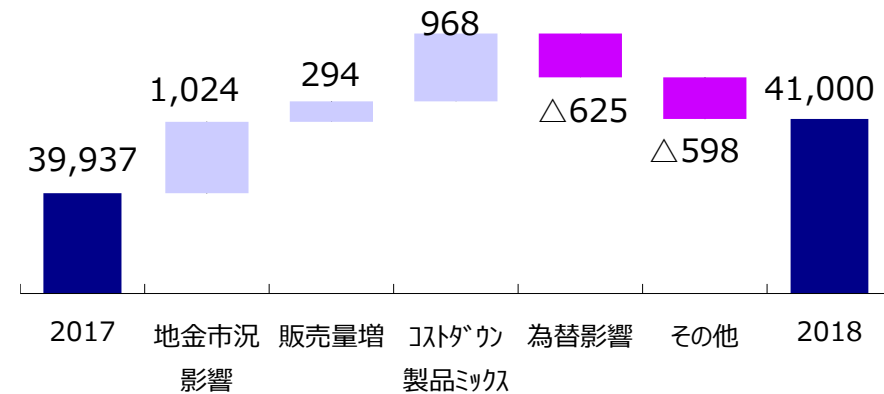
セグメント損益：11.7億円増（前期405.2%増）

- 売上高の増加
- 米国の生産性改善等により増益

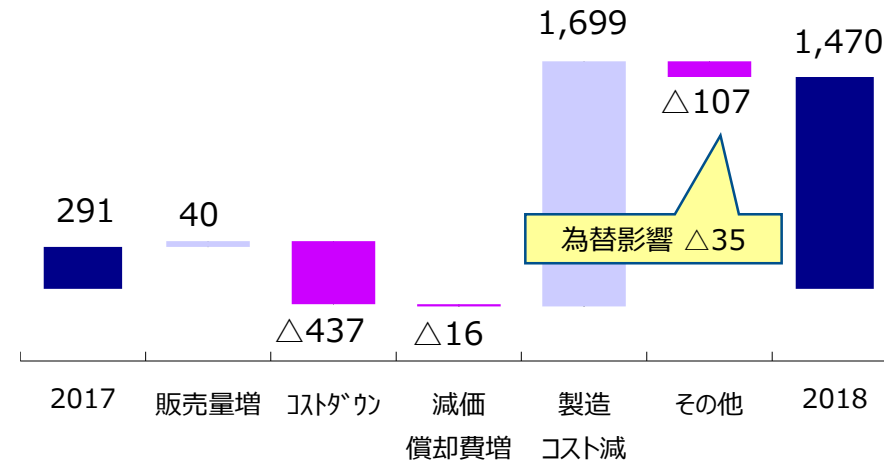
決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期

レート（17通期⇒18計画）アメリカ 110.83⇒110 メキシコ 112.39⇒110

売上高増減要因（単位：百万円）

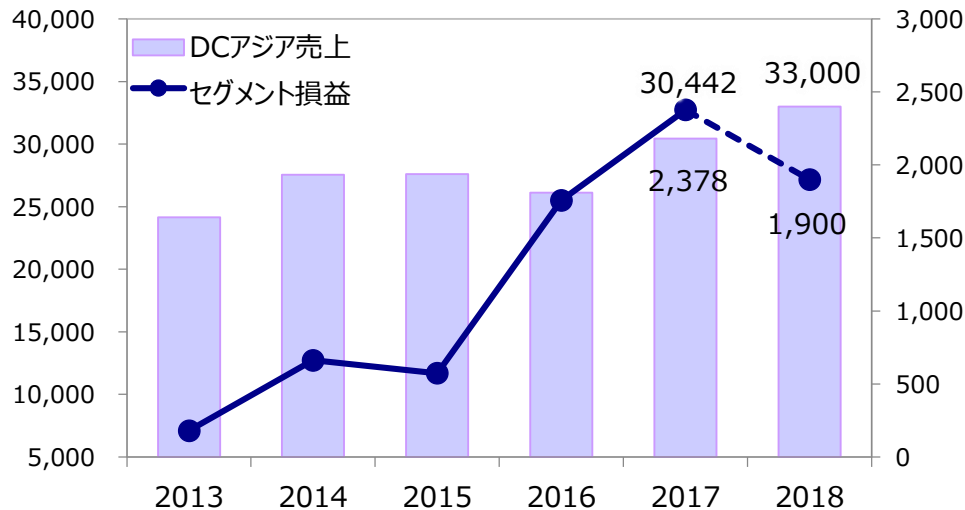


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：25.5億円増（前期比8.4%増）

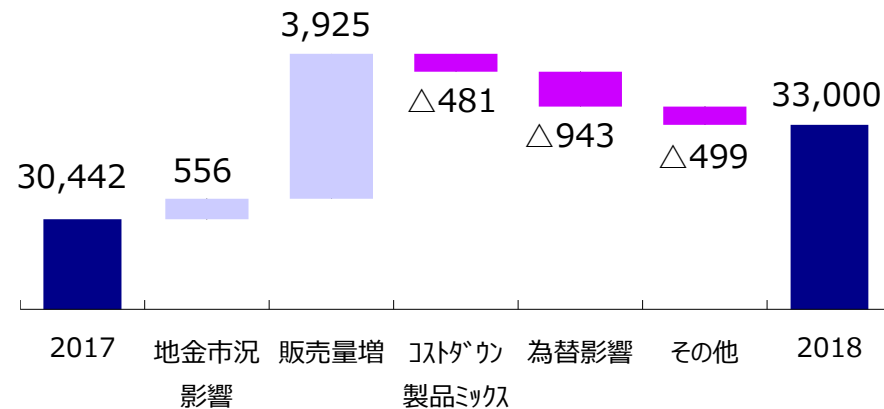
- ▶ 中国、インド共に受注量が増加
- ▶ 為替影響は減収要因

セグメント損益：4.7億円減（前期比20.1%減）

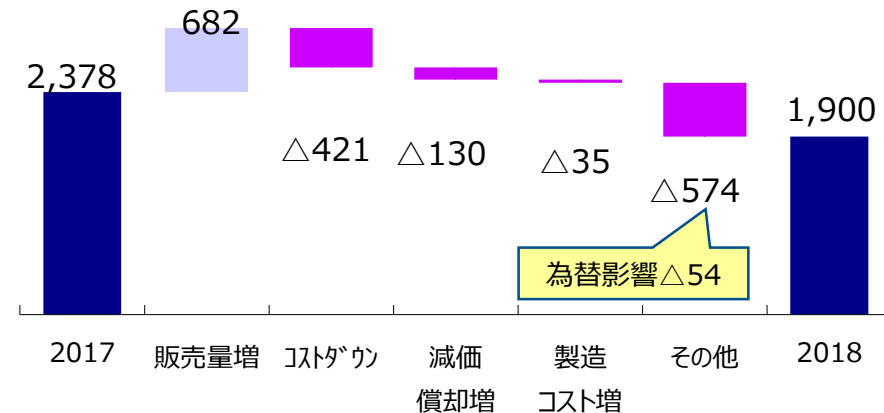
- ▶ 中国、インドの売上高増加
- ▶ コストダウン影響等により減益

決算期：中国12月期、インド3月期
レート（17通期⇒18計画） 人民元 16.64⇒16 インドルピー 1.72⇒1.75

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



2018年度 アルミニウム事業および完成品事業

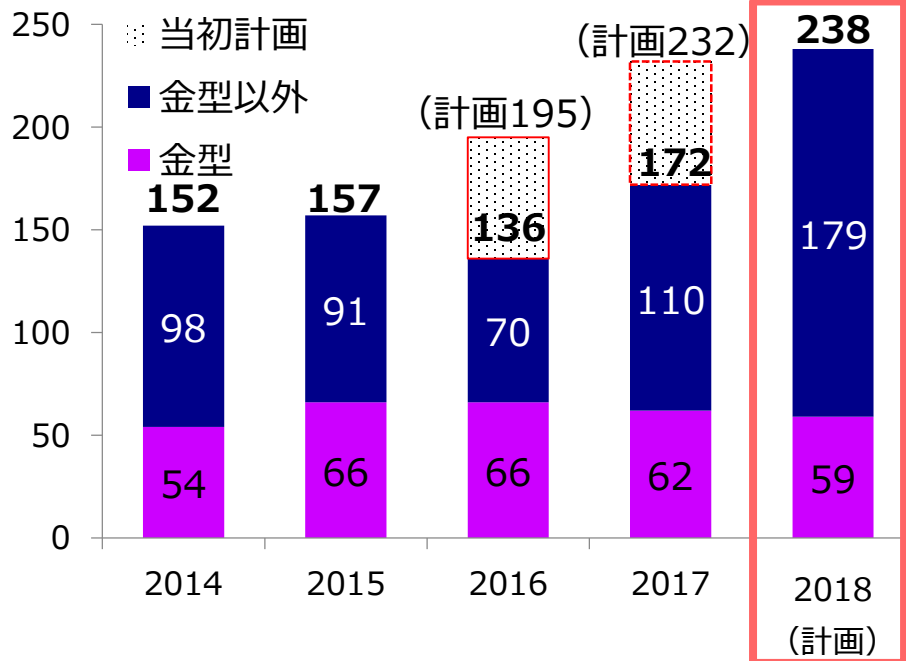
(単位：百万円)

		2017年度		2018年度 計画		増減	
アルミニウム	売上高	4,597	100.0%	5,000	100.0%	403	8.8%
	セグメント損益	213	4.6%	110	2.2%	△103	△48.4%
完成品	売上高	3,371	100.0%	3,200	100.0%	△171	△5.1%
	セグメント損益	392	11.6%	170	5.3%	△222	△56.6%

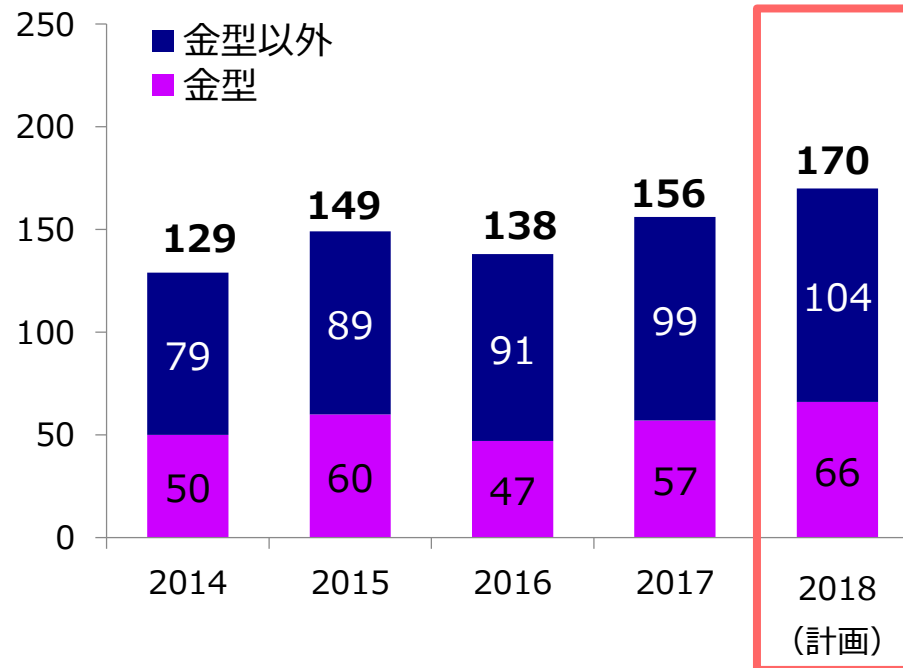
- アルミニウム事業については燃料価格の上昇等により減益予想
- 完成品事業については昨年度にあった大型物件の受注減少等により減益予想

設備投資・減価償却の動向

設備投資額の推移 (単位：億円)



減価償却費の推移 (単位：億円)



2018年度

- 投資内容 ダイカスト：能力維持、合理化投資を中心 加工：海外拠点の能力拡充投資を中心
- 設備投資金額：合計238億円（一般設備投資 179億円、金型投資 59億円）

配当

1株当たり配当金	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 予想
(年間)	14	20	26	26
中間配当	6	8	12	12
期末配当	8	12	14	14
1株当たり純損益(連結)	75.97	178.77	133.40	139.17
配当性向(連結)	18.4	11.2	19.5	18.7

- 2017年度は期初計画の下方修正を行ったが、配当については期初計画通り中間配当を4円、期末配当を2円増配し年間26円の配当を実施
- 2018年度は、年間26円の配当を予想
- 中長期的な企業成長に必要な経営基盤や配当性向等を勘案し適正な利益還元を推進

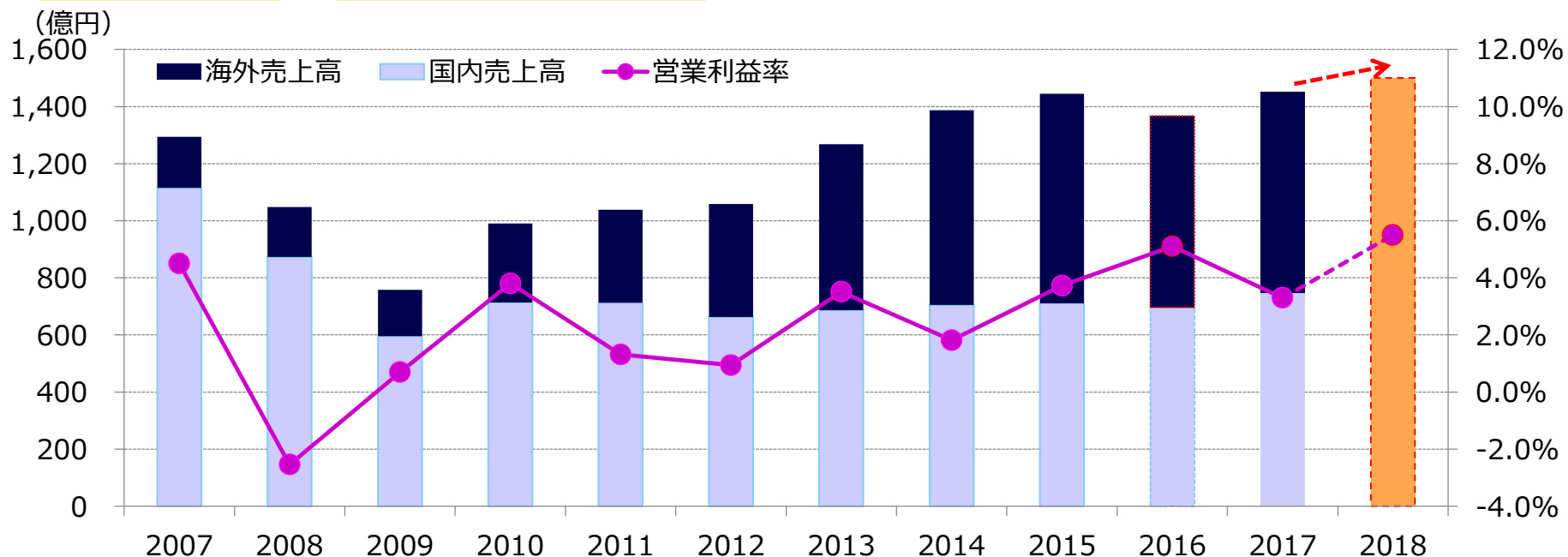
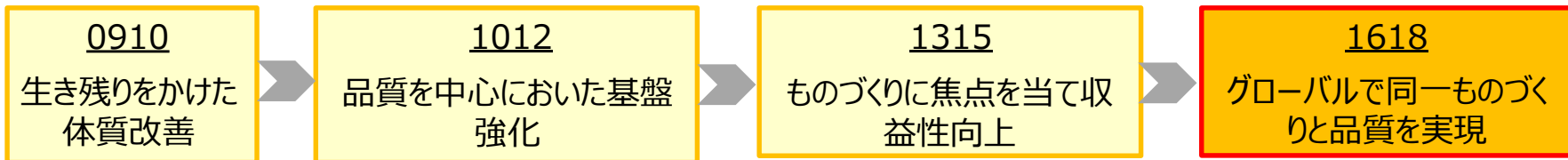
1618中期経営計画の進捗状況

10年ビジョンと中期経営計画の推移

「すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業」をめざす。

ものづくりを究め、ものづくりを進化させる

信頼を究めよう 2025



1618中計では1315中計を更にグローバルで展開し「ものづくり」「ひとづくり」「収益力強化」を図る

1618中期経営計画の基本方針

アーレスティ10年ビジョン

信頼を究めよう 2025

ありたい
姿

- お客様からの信頼No1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億円+α

1618中期経営計画

①大型高難易度製品の顧客評価No1実現

②ものづくりを究める

③生きいきと活動する
会社を築く

④収益力を高める

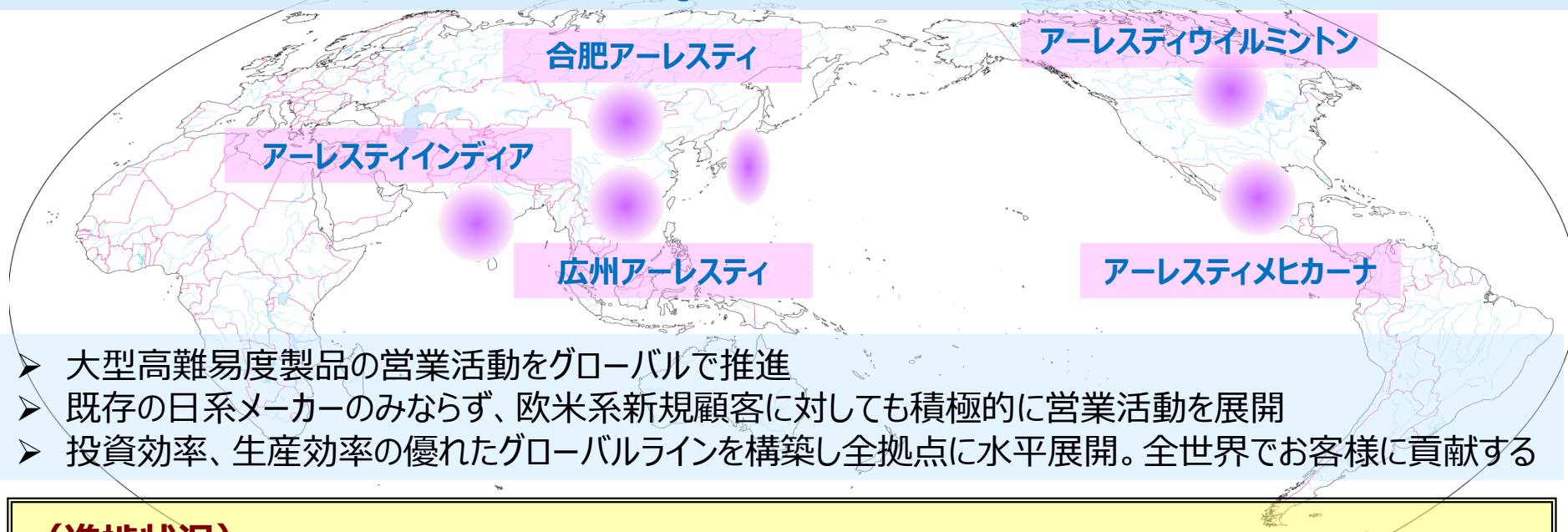
⑤リスク管理を徹底する

1618中期経営計画の進捗状況

- ・ものづくりを究め、アーレスティプロダクションウェイを確立する事を基本方針に5つの柱を推進
- ・グローバルで同質のものづくりと品質を実現するためのしくみ作りを継続
- ・方針評価会でのPDCA管理を実施（国内4回、海外11回（北米5回、中国、インド各3回））

①大型高難易度製品の顧客評価No1実現

大型で要求品質の高い部品のQCDを向上させることで顧客評価No. 1を目指す



- ▶ 大型高難易度製品の営業活動をグローバルで推進
- ▶ 既存の日系メーカーのみならず、欧米系新規顧客に対しても積極的に営業活動を展開
- ▶ 投資効率、生産効率の優れたグローバルラインを構築し全拠点に水平展開。全世界でお客様に貢献する

(進捗状況)

- ◆ 北米・中国の営業強化：中国ローカル、既存顧客の売上増加 欧米メーカーへのコンタクト継続
- ◆ アーレスティスタンダードラインの構築に向け、拠点ごとの課題を明確化し検証を実施
- ◆ マルチスズキ様よりOverall Performance賞を受賞（インド）
ジャトコ様よりグローバル特別賞を受賞
日産自動車様よりBEST QUALITY SUPPLIERを受賞（メキシコ）
瀋陽三菱様より品質貢献賞を受賞（合肥）

合肥アーレスティ 新鑄造工場が竣工

2018年3月に新鑄造工場が竣工（新規受注及び受注拡大に対応）

2018年3月に新鑄造工場が竣工。
加工工場、事務所棟は2018年9月に竣工予定。
(写真 新鑄造工場 外観・内部)

【2018年9月竣工時（予定）】
工場面積 土地：67,182m²
建屋：46,235m²

※内、増築予定分

鑄造工場：5,103m²
加工工場：12,856m²
事務所棟：3,509m²

増築完了後の増強可能な生産能力
(鑄造機15台 → 約23台)
(加工機73台 → 約160台)

■ 2017年9月時点

(工場面積) 土地：48,420m²
建屋：24,767m²



アーレスティ山形 18年度に増改築工事開始

電動系部品等の新規受注による工場の増改築

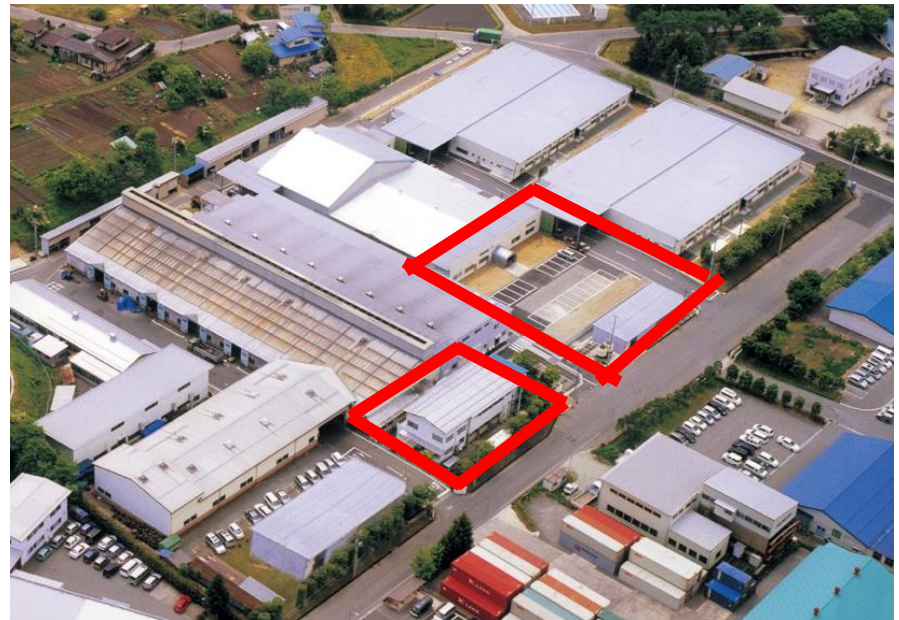
【2019年1月以降（予定）】
第一加工棟新築 1,250㎡

【2019年9月以降（予定）】
溶解棟新築 650㎡
(溶解炉、熱処理炉)

【2018年10月以降随時設置】
ダイカストマシン : 2台増設
加工機 : 20台増設

■ 2018年3月時点
(工場面積) 建屋 : 13,614㎡

増改築部分赤枠表示



一気通貫ライン（鋳造、バリ取り、加工）を構築し、無駄の削減を図る

電動部品への取り組み

- 電動化推進日系カーメーカー、ユニットメーカーとの幅広い取引実績
(最新の動向を常にwatch)
- 10年超に及ぶ電動化部品の生産実績

電動部品に対する取組み実績例



VCU CASE 紹介



水路部にある468個 (□3.3×8) の角フィン

成型のPoint

- ・金型の表面処理 (スーパーマルチライト) の取り扱いノウハウ
- ・湯口方案の最適化 (解析技術+実験鑄造による検証)

②ものづくりを究める

グローバルレベルでの業務改革・標準化

グローバル基準でものづくりプロセスを確立

信頼を究める品質保証の確立

技術のロードマップの実現

徹底した製造原価低減活動

(進捗状況)

- ◆ 鋳造・加工の最適製造条件の監視と管理による条件と品質の相関検証を実施
- ◆ 鋳造・加工の共通施策により、拠点ごとの原価低減活動を実施
- ◆ 技術のロードマップに基づく課題の解決と技術の蓄積を推進

- ◆ 品質保証のランクアップ活動による取組みを展開し、拠点ごとに不良低減活動を推進
- ◆ 方針評価会開催（国内4回、海外11回（北米5回、中国、インド各3回））
- ◆ Global Kaizen Meetingの開催

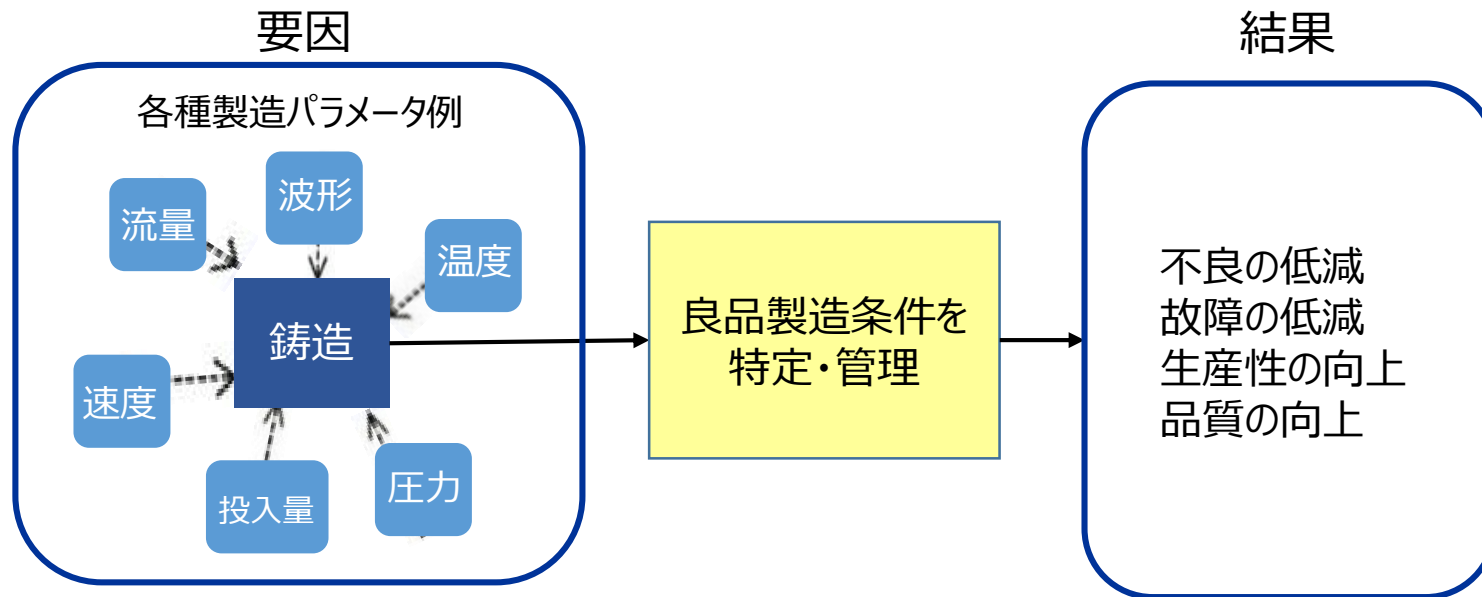
②ものづくりを究める

良品製造条件（OPCC※）追究活動

※OPCC・・・Optimal Process Condition Controlの頭文字をとった造語

アーレスティでは各種の製造と品質との因果関係を捉えて管理することにより、検査による品質保証から脱却し、不良を作らない製造工程の確立を目指すOPCC活動に取り組んでいます。

【鑄造工程でのOPCCイメージ】



②ものづくりを究める

Global Kaizen Meeting

グローバル全拠点で
同一の生産性と品質の供給
を目的に海外拠点を含めて開催



2017年10月 海外のメンバーも含めて
総勢57名で「鑄造OPCCの確立」をテーマに
事例報告や活発な意見交換が行われました。

③ 生きいきと活動する会社を築く

RST Wayを実践できる企業風土づくり

ものづくりを究める人材育成

RSTWay

「誠実」「率先」「スピード」「成長」「挑戦」

RSTWayを実践できる、風通しの良い企業風土を築く

社員のモチベーション向上
社員間の良好な関係構築
スピーディかつ正確な情報伝達

(進捗状況)

- ◆ Wayの継続的な取組みにより各部門に浸透
- ◆ Way推進担当者会議の定期開催と情報共有
- ◆ Way実践度向上DVDの作成・拠点配布
- ◆ コミュニケーション活性化委員会による活動を推進
- ◆ 社内壁新聞発行、社内報、グローバル報発行

RSTプロダクションWay

教育体系を整備運用して人材育成を強化
(グローバルRSTラーニングの充実)

社員のモチベーション向上
社員の知識、技能のレベルアップ

(進捗状況)

- ◆ グローバルRSTラーニング (RST学園) の推進
国内だけでなく、海外5拠点でも開講
海外拠点専任教育担当を認定して実施
- ◆ 教育体系・カリキュラムの整備、テキストの整備
- ◆ 国内、海外トレーナー養成教育を推進

③ 生きいきと活動する会社を築く

コミュニケーション活性化委員会活動

2016年度よりコミュニケーション活性化委員会を各拠点に設置し、大小様々な行事を企画、実施し、従業員間のコミュニケーション向上とモチベーションアップにつながっています。2017年度は各拠点で平均8割近くの参画率となりました。



③ 生きいきと活動する会社を築く

グローバル RST ラーニング (RST学園)

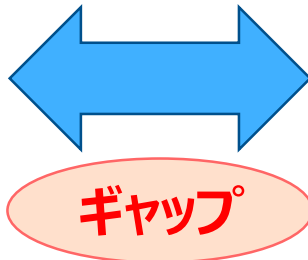
創業時から蓄積してきたものづくりのノウハウを伝承するため、グローバルで全社員が同一水準の教育を受講
必要な教育を誰でも受講することが出来、標準の大切さを演習で体験する教育を推奨しています。

2017年度は、3,956名が受講



④収益力を高める

1618中期経営計画 経営目標値

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)		1618中期経営計画 (目標値)
売上高	1,366	1,451	1,520		1,500
営業利益率	5.1%	3.3%	3.8%		5.5%
総資産利益率 (ROA)	3.4%	2.5%	2.5%		3.0%
自己資本利益率 (ROE)	7.6%	5.4%	5.4%		7.0%

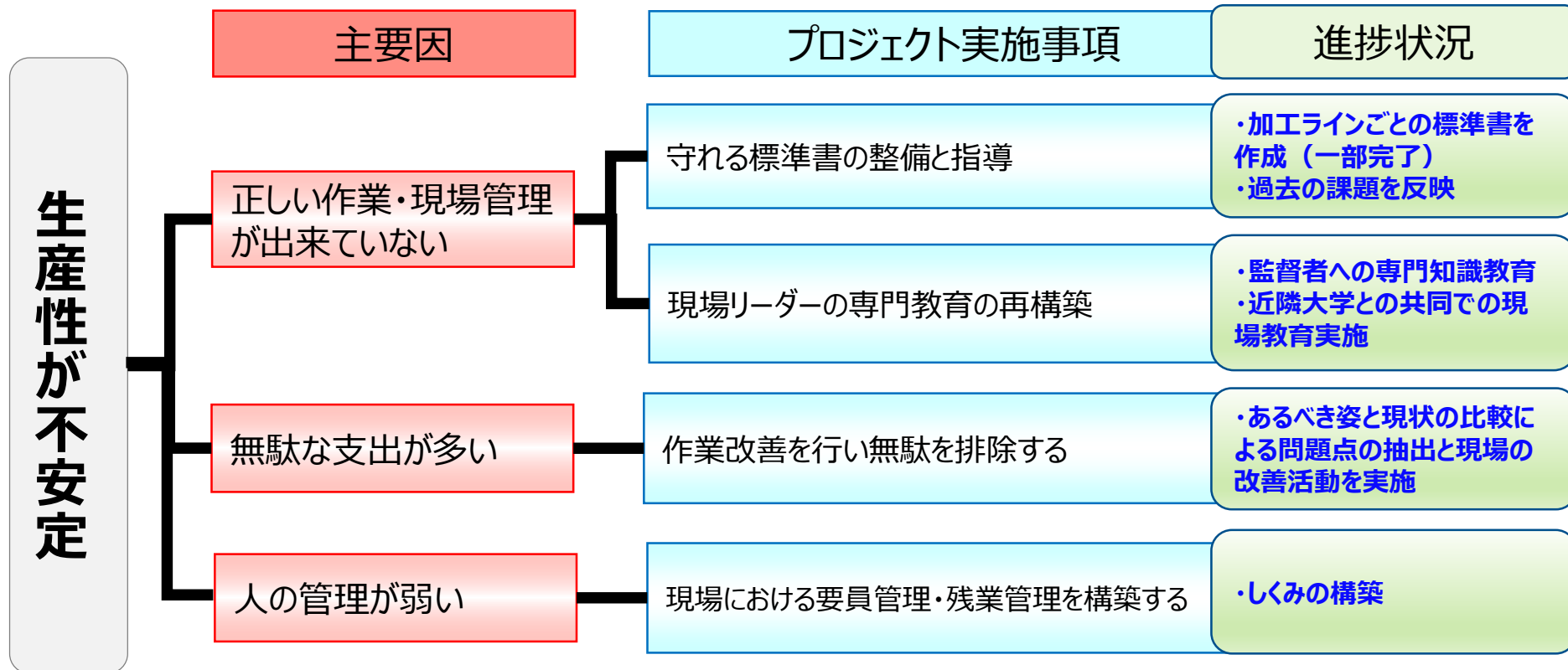
(進捗状況)

- ◆ OPCC活動やグローバル改善ミーティング等により、生産性や品質の向上が表れてきましたが、栃木工場や米国工場の生産性改善の遅れにより利益率は目標値を下回りました。
- ◆ 2018年度は中期経営計画の目標値は売上高以外厳しい状況ではありますが、引き続き改善活動を進めて目標達成を目指してまいります。

米国工場 改善プロジェクト

2014から15年の業績悪化は一旦改善されたが、改善が安定して継続していない。
安定した状態を維持しながら改善活動を行っていくため、改善プロジェクトを2018年1月より始動。

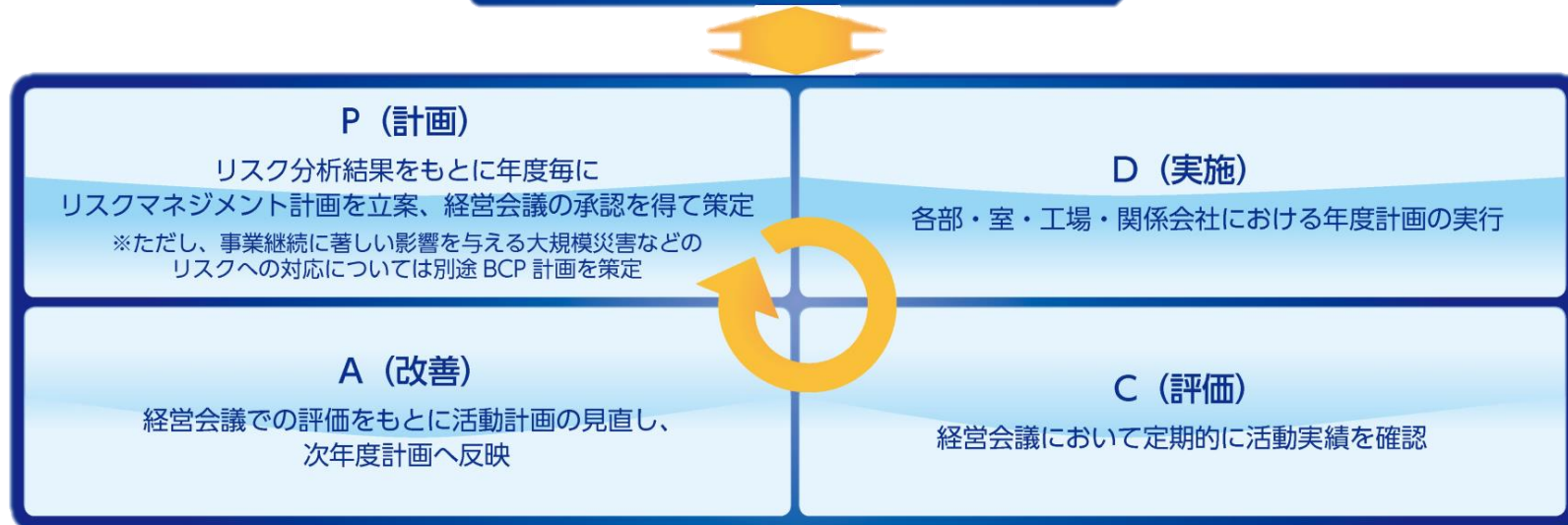
アメリカの現地スタッフを中心に活動を行い日本人がサポート



⑤ リスク管理を徹底する

想定リスクを特定・評価、リスク発生の未然防止と、影響の極小化に取り組む

リスクマネジメント方針



リスクマネジメント活動サイクル

(進捗状況)

- ◆ 国内9拠点、海外4拠点でリスクに応じたBCP訓練を実施
- ◆ BCP発動時の初動対応手順書、DRシステムの稼働手順書を作成
- ◆ 本社機能（東京本社、本社）の代替対応の検討

⑤ リスク管理を徹底する

BCP訓練

災害等が起きた場合にも事業継続を実現する
海外工場も含めてBCPの策定・訓練を実施





Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。